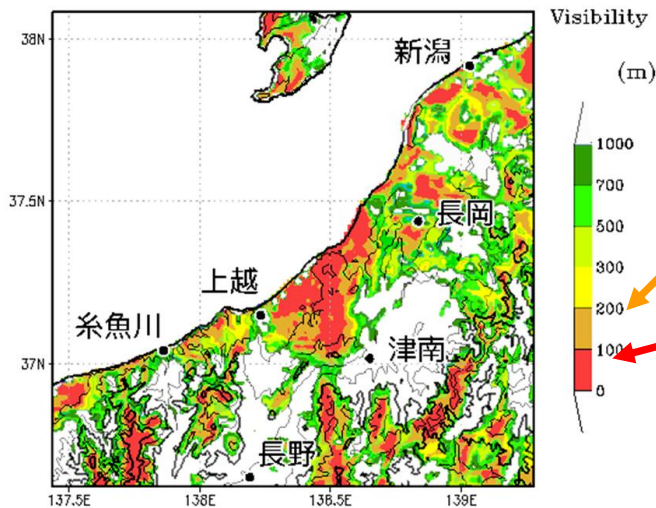


吹雪情報の見方

吹雪粒子、降雪片による視程悪化の度合いや吹雪強度、風速・気温など気象要素の予測情報を閲覧できます。

1. 視程(高度 1.2m, 小型乗用車の目線の高さ) [m]

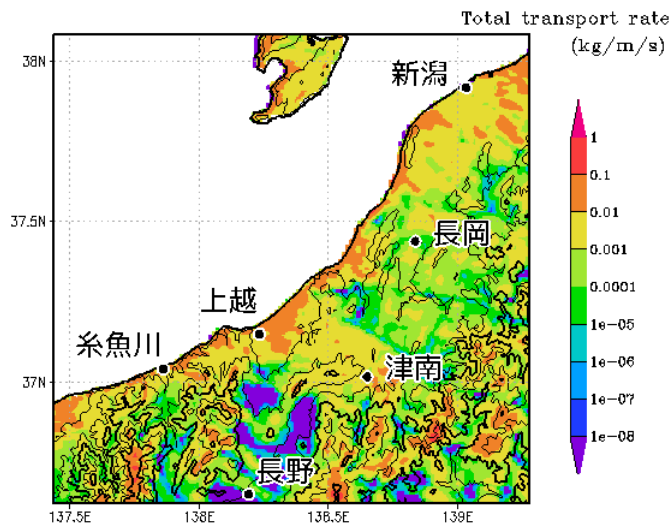
(以下、2011/1/16 15:00、新潟県周辺の例)



視程 200m: 自動車走行速度が低下しはじめるが、走行は安定。

視程 100m以下: かなり強い吹雪の状態。安定走行が難しく、車両の速度差が大きくなる。

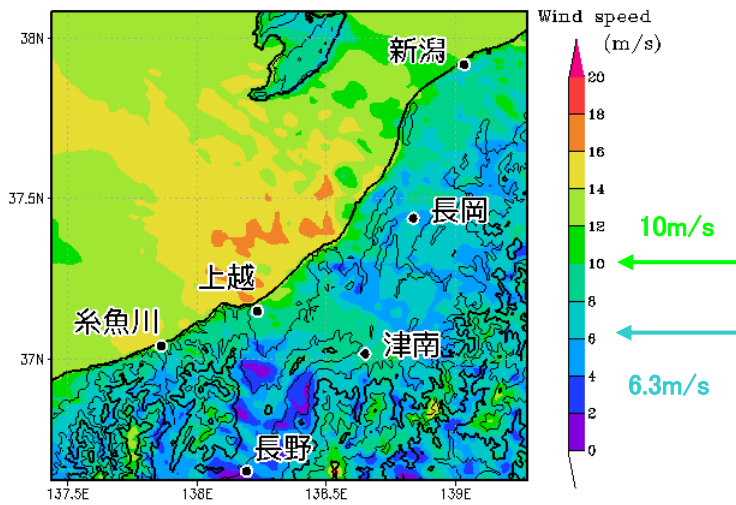
2. 吹雪量 [kg/m/s]



・風に直交する単位幅[1m]を単位時間[1 秒]に通過する吹雪粒子の質量[kg]で表わされ、吹雪の強さ(吹雪強度)に対応する。

・ただし、視程と異なり、温度依存性(0°C付近で吹雪が弱まる効果)が考慮されていないので、実際よりも強度が過大評価となる場合もある。

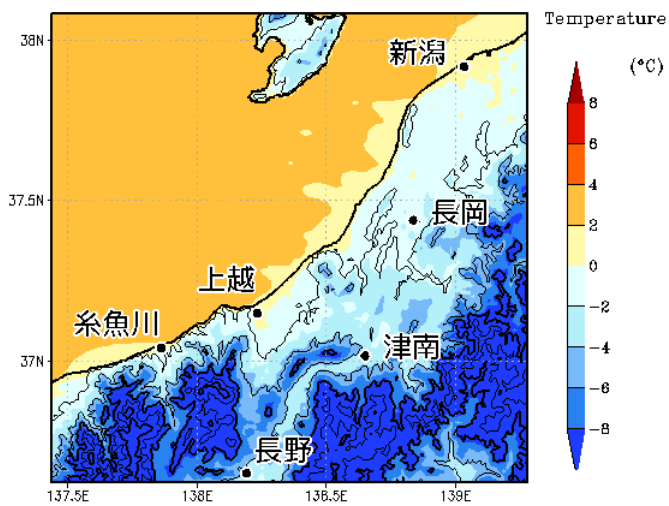
3. 風速(高度 10m) [m/s]



・吹雪の発生条件: 高度 1m の風速が約 5m/s 以上(高度 10m/s の風速に換算すれば約 6.3m/s)。

・10m/s を超えると雪が高くまで舞い上がり、視程障害につながるような吹雪となる(高い地吹雪)。

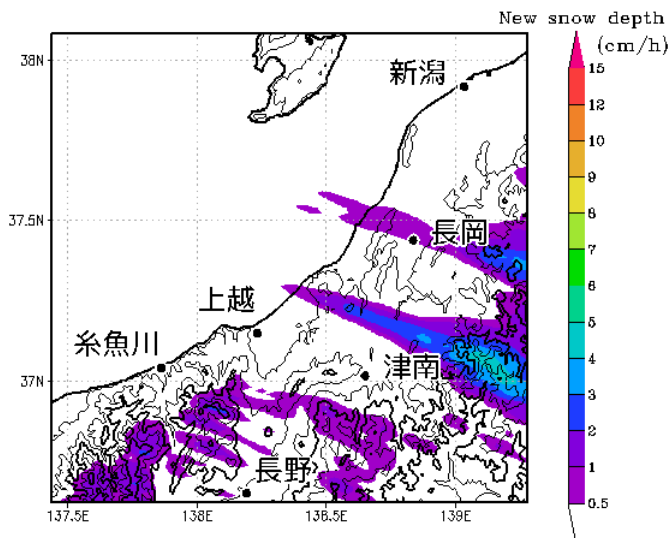
4. 気温(高度 1.5m) [°C]



・積雪面上で、気温が低いほど強い吹雪になりやすい。

・ただし、雪の状態や風の強さによっては、+2°Cぐらいでも吹雪は発生する。

5. 降雪量 [cm/h]



・1 時間に積もる新雪の深さの分布を表わす。なお、新雪の密度を 100kg/m^3 と仮定している。

・強い降雪が見られる領域では、空中の降雪片により視程悪化が生じる。

6. 吹雪・視程障害の発生と終息(2011年1月16日, 10時~18時、新潟県周辺の例)

吹雪・視程障害が「いつ」、「どこで」、「どのぐらいの強度で」発生するか、また、「いつおさまるのか」などの判断にご活用ください。

